

TCS AI for Business Study（ビジネスにおける AI 活用についての調査）

日本市場レポート



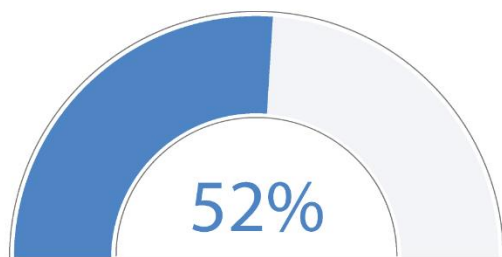
日本の経営幹部の大多数は、人工知能（AI）が自社のビジネスにもたらす可能性に期待しているか、少なくとも、慎重ながらも前向きに見ていると述べています。そして既に AI を活用しています。しかし、その理由を理解しているのでしょうか。

AI はバリューチェーン全体を通じてビジネスを根本から変えるでしょう。準備はできていますか？

それを知るため、TCS は 24 カ国の 12 の業界の約 1,300 人の経営幹部（日本からの回答者 124 人を含む）を対象に、現在 AI をどのように活用しているか、どこに AI を適用したいと考えているか、AI の変革の可能性を活用し、リスクを軽減するために会社をどのように変えようとしているのかを尋ねました。

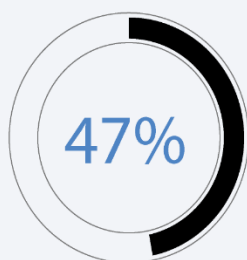
調査結果

日本で調査に参加した経営幹部の大多数は、AI がビジネスに大きな変革をもたらすと予想しています

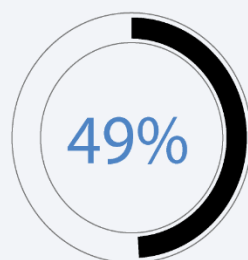


日本の回答者の 52% が、AI が自社のビジネスに及ぼす潜在的な影響について大いに期待している、または慎重ながらも前向きに見ていると回答しました

約半数の回答者が、AIがビジネスに与える影響がクラウド・テクノロジーやスマートフォン・テクノロジーと同等以上になると考えています



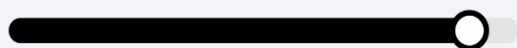
AIが自社のビジネスに与える影響はクラウドと同等以上になると考えている回答者



AIが自社のビジネスに与える影響はスマートフォンと同等以上になると考えている回答者

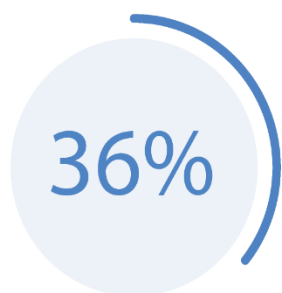
そして、AIを実装する作業は、経営幹部が率いるすべての部門で既に進行中です

94%

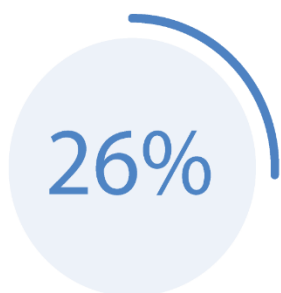


調査に参加した日本の企業のコーポレート部門のうち、AIの実装を計画中、遂行中、または完了済みである部門の割合

ところが日本の企業の大半は、AIを十分に活用する準備がまだできていません



AIをより有効に活用したいと考えているものの、依然としてデータを整理してクラウドに移行している段階にある企業



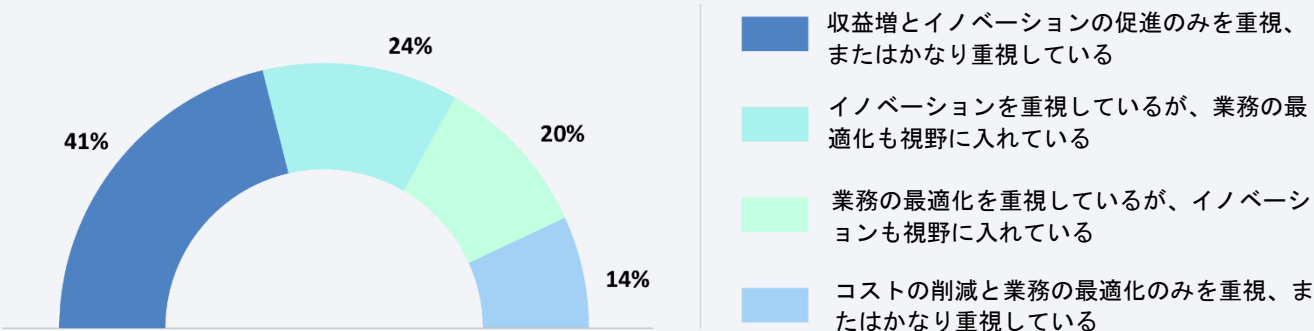
AIに関する初期の調査段階からまだ脱していない企業



AIが既にビジネスを変革する差別化要因になっていると回答した企業は1社もありません

経営陣は現在、AIにどのような望みを抱いているのでしょうか？

調査に参加した日本の経営幹部の半数以上が、自社が AI を活用してイノベーションと売上増に注力することを望んでいると回答しました。また **90%の経営幹部が、収益の増加を目的とした AI プロジェクトがあると述べています。**



構想を戦略的実行に変える時です。計画的に。

TCS AI for Business Study（ビジネスにおける AI についての調査）では、より多くのインサイトをご覧ください

このグローバル調査を集計して報告書にまとめたのは、組織がビジネスの未来を形づくるのに役立つ、独自のデータ重視のインサイトを生み出す調査機関、TCS ソートリーダーシップインスティテュートです。

詳細は <https://on.tcs.com/global-studies> をご覧ください。

最新のコンテンツとニュースについては、iOS および Android デバイス用の「TCS Perspectives」アプリをダウンロードしてください。



[in](#) [X](#) [f](#) [@](#) [v](#)

Copyright @ 2024 Tata Consultancy Services Limited